



2023年6月5日

各位

会社名 秩父鉄道株式会社
代表者名 代表取締役社長 牧野 英伸
(コード: 9012 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員総務部長 佐藤 伸
(TEL 048-523-3311)

2024年3月期業績予想に関するお知らせ

2023年5月12日に公表した「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としていた2024年3月期の業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想値 (2023年4月1日～2023年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A) (2023年5月12日時点)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B) (2023年6月5日時点)	2,560	△110	△120	160	107.71
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	2,100	△153	△105	△152	△102.48

2. 2024年3月期 通期連結業績予想値 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A) (2023年5月12日時点)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B) (2023年6月5日時点)	5,210	△220	△270	20	13.46
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	4,688	△361	△311	△5,046	△3,397.03

3. 業績予想公表の理由

2024年3月期の業績予想につきましては、前期において固定資産の減損損失を計上したことなどから、減価償却費等を改めて算定しておりましたが、現時点における入手可能な情報や予測に基づき、業績予想を策定いたしましたので、ここに公表いたします。

前期実績と比較し増収となる要因は、各事業においてコロナ禍からの回復が一定程度見込めること、SL料金、遊船料金の改定や索道運賃の改定、各種イベントの企画増を予定していること、不動産事業において新規賃貸物件が稼働することなどによるものです。

一方、費用面では、減価償却費が固定資産の減損に伴い減少するものの、引き続き電力料金の値上がり、高止まりの影響を大きく受けること、施設の修繕費も増加することなどから、営業費用は増加する見込みです。

当社といたしましては、公共交通事業者としての責務を果たし続けていくためにも、鉄道事業の採算性のほか多面的な検証を行い、適正な運賃・料金の検討を進め、当局をはじめとする関係者と早期の実現に向け、協議してまいります。併せて、観光事業にも一層注力し、沿線の魅力を高め、旅客誘致に努めます。

これらを実現するための体制づくりとして、新年度より組織を見直しました。これにより、グループ全体の観光事業の再構築と、より安定的で収益力の高い不動産事業への転換を目指してまいります。更には、グループ会社の統合・再編も視野に入れ、経営の効率化による早期の業績改善と強固な経営基盤の構築を図ります。

以上により、営業収益は5,210百万円、営業損失は220百万円、経常損失は270百万円と予想しております。また、先月実施した有価証券の売却による売却益312百万円を特別利益として計上することから、親会社株主に帰属する当期純利益は20百万円を予想しております。

なお、業績予想につきましては、発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上